
Renegade **世の中への裏切り者たち**

月潟隼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Renegade 世の中への裏切り者たち

【コード】

N4580Y

【作者名】

月瀉隼

【あらすじ】

都心の地下深くに奴らはいる。世の中から背いた奴らは暮らしている。ひっそりと。

「……ひっそりと？馬鹿騒ぎの間違いじゃないの？」

「その意見には賛成だな。どこの辺りがひっそりしてるんだい？」

まあ、馬鹿騒ぎというのには語弊があるが「

「皆……好きに生きてるだけだ……」

「なあなあ、聞いたか？あの噂」

「聞いたか？って言われても何の事なのか分からないよ」

「つたく、お前ニツブイな、あの地下都市の話だよ」

「え？シユラインじゃなくて？」

「それが違うんだよ。シユラインがまだ出来てないエリアにスラムみたいな街があつて、歩いてる奴も明らかにそつち系の人に見える奴らばかりらしいぞ」

「なんだそれ。ただの噂じゃないのか？」

「それがさ、学校内に目撃者がいるんだよ、しかも複数」

「え？例えば誰だよ」

「二組の安田と更科、五組の柿崎と、六組の武内。うちの学年じやこれだけど、学校全体だともっといることは間違い無いな。事実、生徒会書記の大島陽菜だつて見たことあるらしいぜ」

「それなら大分信憑性は高いな……見てみたい気もするけど、明らかそつち系の人が多いんじゃないや関わらないに越したことはないな」

「だよなー」

これは街の物語。集まる人と、噂でできた与太噺。

Prolog Our ignorant people gossip

新連載です。前々から書き貯めていたものを設定変更してちょこちよこやって行きます。

プロローグは会話文だけで短めですが、三人称小説になる予定です。ちなみに、タイトルの英語部分は『レニゲイド』と読みます。意味は『裏切り者』とか『脱党者』。タイトルに大した意味はありません。

サブタイトルは『愚民達の噂話』でした。

感想等々、お待ちしております。

では、この物語がたくさんの人目に触れることを願って。

時は2025年。日本の地下技術は以前より更なる発展を遂げ、政府は技術の象徴と観光者対策のために、山手線内の地下に巨大な地下街にしてシヨッピングモール、『シユライン』を建設を計画、翌年には山手線の円内の東京から新宿までを直線で結び、その上半分の建設が終了。

2026年には山手線内全域の建設が終了し、2027年現在は山手線の域を脱し、雑司ヶ谷、臨海方面まで展開しており、2028年春には十条方面も開業予定。

……というのは表向き。その実態は、更に地下深くにあるものを隠すために作られたのが『シユライン』なのだ。

更に地下にあるもの。それは……

銃声が鳴り響く物騒な繁華街。

毒々しいネオンが輝き、男どもが一晩の夢を買い色街。

そこらにあるものとなんら変わり無い商店街や定食屋。

世の中に存在するものと存在してはいけないものを詰め込めるだけ詰め込んだ暗黒街。

いつしか、その場に住む者達は『神殿』を意味する『シユライン』に対し、その街を『プロフェイン』……『神聖を汚す』と呼ぶようになった。

T h e s e c o n d p r o l o g u e D o n o t b e e n f o o

はい。第二話だったんですが、本編に入る気満々だったのにプロローグになってしまいました。

次こそ本編につ！

サブタイトルは『見掛けに騙されてはいけない』。翻訳はググって、タイトルや地名とかは『縦横無尽』というサイト様を参考にしました。おすすめですw

では恒例ですが感想等々、お待ちしております。

それでは。

真つ暗な街。抜け出せない。抜け出す気もないのだけれど。

明かりのつかない部屋で、私は三つ指を付いた。

「また来ておくんなし」

「ああ。また来るよ」

そう言つて障子を開けて出ていく男は、上の世界でも有名な高級官僚。この地下街は、元々政治家や、国のお偉いさん方が遊ぶために作ったものだから、そのパイプはこの街が隠された今でも残っている。

プロフェインに降りて来て、否墮ちてきて早五年。

墮ちてきた当時中学生だった私には、春を売るしか生きる術は無かった。

二束三文で体を売り、その日だけで生きていったある日、私は一人の男と寝た。そこで漏らした男の一言を、当時世話になっていた女将さんに話すと、ある情報屋の元に連れて行かれた。

話を対価に手に入れたのは、ビックリするぐらいの大金。

その出来事から、私は情報屋と手を組んだ。

……そういえば、その数日後に内閣が解散したのは、何か関係しているのだろうか。

手に入れる情報、その対価に売る体。

今日も誰かの手で鳴かされ、喘ぎ、乱れる。

前が、先が見えなくても、私はここにいる。

ここにいる理由があるから。やらなくてはいけないことがあるから。

部屋の片隅に掛かっている振り子時計の鳴る音がする。日の昇らないプロフェインの朝を告げる音だ。

「春菊ー起きてる？ さっさとお風呂入っちゃいなさい」

遠くから私だけ源氏名を呼ぶ女将さんの声が聞こえる。もとの名など、ここに堕ちた時から、とうに捨ててしまった。

「女将さん、起きてます。」

重たい体を起こして、私は答えた。

とある少女の、朝。

第一話でした。なんだかこれもプロローグっぽいんですけど第一話と
言い張ってみる

例に漏れず短いのは、途中でデータがぶっ飛んで、書く気が萎えた
からです（涙）

春菊のキャラは、好きなものを詰め込む予定なので、厨二乙なこと
になりそうです。

あ、サブタイトルは『堕ちた少女は昔の夢を見、今に溺れる』でし
た。

感想等々お待ちしています。

では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4580y/>

Renegade 世の中への裏切り者たち

2011年11月25日23時55分発行